

【福岡県】

現在の景気：緩やかな持ち直し。

3か月程度の見通し：原油価格の上昇、海外景気の下振れリスク、電力供給の制約などが懸念される。

個人消費：緩やかな持ち直し。2月の大型小売店販売は、スーパー販売が前年比1.6%増加、百貨店販売が6.8%増加し、全体では前年比3.7%増と13か月連続で増加。乗用車販売は、普通乗用車が前年比32.9%増加、小型乗用車が39.8%増加、軽乗用車が25.1%増加し、全体では前年比32.5%増と6か月連続で増加。

住宅建築：足許減少したものの、増加傾向。2月の住宅着工戸数は、貸家が前年比2.2%増加したものの、持家が7.6%減少、分譲住宅が25.0%減少し、全体では前年比8.3%減と2か月連続で減少。

設備投資：慎重な動き。日本政策投資銀行「九州地域設備投資動向」によると、2011年度設備投資計画は、製造業が前年度比17.9%減少、非製造業が28.6%減少し、全体では前年度比26.2%減少。2月の着工建築物工事費予定額（非居住用）は前年比30.5%減少。

公共工事：減少。2月の公共工事請負額は、県が前年比25.9%増と4か月連続で増加したものの、国が47.1%減と3か月連続で減少、市町村が30.3%減と2か月連続で減少、その他公共的団体等が24.4%減と2か月ぶりに減少し、全体では前年比21.4%減と4か月ぶりに減少。

輸出：増加傾向。2月の博多港の輸出は、プラスチックが前年比28.9%減少したものの、電気機器が78.3%増加、一般機械が57.7%増加、輸送用機器が51.9%増加、半導体等電子部品、半導体等製造装置も増加し、全体では前年比35.7%増と2か月連続で増加。県全体では前年比11.0%増と2か月連続で増加。

生産活動：横這い圏内。1月の鉱工業生産指数（季調済）は、輸送機械、化学などが低下したものの、鉄鋼、一般機械などが上昇し、全体では前月比1.5%上昇し98.4と2か月連続で上昇。原指数は前年比0.9%上昇し4か月連続で上昇。

雇用情勢：緩やかに改善。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.02ポイント上昇し0.65倍と2か月ぶりに改善。新規求人数は、金融業・保険業などで減少したものの、情報通信業、医療・福祉、宿泊業・飲食業、サービス業などで増加し、全体では前年比12.5%増加。

（トピックス）

○山口フィナンシャルグループの3行（北九州銀行、山口銀行、もみじ銀行）と九州工業大学は、地域の産学連携を推進し、地域産業の振興および発展に寄与することを目的として連携協定を締結。

○西部ガス（福岡市）は、北九州市、大牟田市にメガソーラーを建設し、太陽光発電事業に参入すると発表。発電した電気は全量を九州電力に売却。都市ガス業界で同事業参入を決めたのは全国初。